

校長だより

第2学年の生徒が北海道スキー修学旅行に行ってきました

令和5年1月14日（土）～17日（火）の3泊4日の日程で第2学年（46回生）は北海道へのスキー修学旅行に行ってきました。

【1日目＝1月14日（土）】早朝に神戸を出発し、昼過ぎには宿泊先のルスツリゾートホテル&コンベンションに到着しました。その後、ゲレンデに出てスキースクールの開校式に臨みました。そしていよいよスキー班とスノーボード班に分かれ、実習が始まりました。初日は、スキー板やボードが思うように操れず、悪戦苦闘する生徒の姿が見られました。

実習終了後、北海道の食材をふんだんに使ったホテルの夕食は大変おいしく、体と心の疲れを吹き飛ばしてくれました。



開校式での生徒代表の挨拶

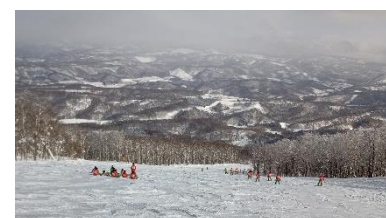
【2日目＝1月15日（日）】スキー実習2日目。朝からリフトに乗って本格的に実習に臨みました。実習終了後には、笑顔でホテルに帰ってくるたくさんの生徒を見ることができました。一方、実習に参加しなかった生徒は乗馬体験やカマクラづくりなど、普段では経験できない貴重な時間を過ごしました。この日の夜は、修学旅行委員が中心となって学年レクリエーションを行いました。生徒有志による歌やダンスに続き、ゲーム大会を行い、クラスの枠を越えた親睦を図ることができました。



学年レクでの有志による歌

【3日目＝1月16日（月）】スキー実習3日目。夜に降った新雪と晴れた空に恵まれた好コンディションのもと、スキー実習の最終日を迎えました。

この日は、ゲレンデツアーが計画されており、各実習班がインストラクターの引率のもと、ゴンドラやリフトを乗り継いで遠方の山頂付近へ移動しました。そして羊蹄山を正面に見ながら、思い思いのシュプールを描き、滑っていきました。その後の閉校式での代表生徒の挨拶の言葉から、自分たちが壁を乗り越えた経験とそこからくる自信を感じることができました。この日の夕食には、蟹とイクラが登場し、蟹の足を皿に山盛りにして取る生徒もいました。



ゲレンデツアー中の生徒

【4日目＝1月17日（火）】修学旅行最終日。朝食後にルスツリゾートホテルに別れを告げ、小樽での班別研修に向かいました。この日も天候に恵まれ、小樽名物のスイーツをおみやげに買う生徒や昼食に海鮮丼やラーメンを食べる生徒らの姿がありました。その後、新千歳空港にて解団式を行い、神戸への帰路に就きました。バスが到着した湊川神社横から自宅に帰る生徒たちの表情は、晴れやかで満足そうでした。



小樽運河沿いも歩きました

【修学旅行を終えて】

- 1 コロナ禍の影響を危惧していたものの、幸いにも修学旅行中は、ほぼ体調不良の生徒が出なかったこと、また大きなけががなかったことに何より胸をなでおろしています。おかげ様で修学旅行の行程を終えることができました。
- 2 修学旅行中、学年レクリエーション大会を企画・運営した修学旅行委員、ホテルでの各部屋の室長や各係、スキー実習の班長等の活躍ぶりを見ることができました。46回生の生徒の中から、リーダーたちが確実に育っていることを頼もしく感じました。
- 3 修学旅行をとおして学んだ、支え合うことの大切さや自分を磨き、高めた経験などをこれからの学校生活の中で生かしてもらいたいと思います。

修学旅行実施にあたり、保護者様をはじめ、支えていただいた方々に感謝申し上げます。